

# よくある質問 (消防基金 退職報償課)

## 退職者が請求データ一覧に出ない

退職報償金コード未設定 → 設定する(実務の手引き第2部3-7参照)

確認の仕方→メインメニュー>基本設定>退職報償金コードをクリック  
確認したい年度を算定年度に入力し、表示をクリック  
階級・勤務年数区分ごとの登録が正しければOK(団員5年以上200千円等)

最終行が退職以外 → 最終行が「退職」になるよう階級情報を登録

再入団者の場合は、請求処理が完了してから再入団情報を入力

退職日が違う → 入力を修正

例：R02/03/31をR20/03/31と入力。

上記に該当しない → 請求データ作成済みの可能性

確認の仕方→メインメニュー>請求取消をクリック

新退職報償金システム	
4.3 請求取消	
R02/04/22 作成分 請求データ	
請求年月日	
証明年月日	請求FD・CD作成前
請求金額合計	318 千円
請求人数	1 名
を取り消します。	

証明年月日が請求FD・CD作成前→請求FD・CD作成を実行していない状態なので、メインメニュー>請求FD・CD作成から、請求テキストデータを作成  
(手引き第2部5-3参照)

新退職報償金システム	
4.3 請求取消	
R02/04/22 作成分 請求データ	
請求年月日	R02/04/22
証明年月日	R02/04/22
請求金額合計	318 千円

日付が入っている→既に請求テキストデータまで作成済み。内訳が知りたい場合は、メインメニュー>名簿等>個人別調書再印刷をクリックすると、データに含まれる団員名や請求金額が確認できる

# よくある質問 (消防基金 退職報償課)

## 令和で入力できない

平成のままで、請求データの作成には差し支えありません

そもそも R が入力できない → 元号定義ファイルを更新する

消防基金ホームページ> 各種ダウンロード> 新元号対応元号定義ファイルをダウンロード

**同梱の PDF をよく確認**のうえ、3 種類のファイルから使用している新退職報償金システムのバージョンに合致するものを選択し、新退職報償金システムがインストールされているフォルダーに貼付

R で登録できない → PC 等を令和の元号に対応させる

または

平成までの定義ファイルに戻す

PC 等を令和の元号に対応させる

IT 担当・PC 担当に windows アップデートの状況を確認し、令和の元号に対応するアップデートを実施してもらう

平成までの定義ファイルに戻す

Ver.1 及び 2 →システムがインストールされているフォルダー内の元号定義設定ファイルを、置き換える前の元の定義ファイルに戻す（ファイル名が「新退職報償金システム.exe.config」以外の場合はこの名前に変えてから）

Ver.3→インストーラー同梱「平成版\_元号定義ファイル\_新システム\_v3」フォルダー内の「新退職報償金システム.exe.config」をシステムがインストールされているフォルダーに貼付け